

令和4年度 県立学校中堅教諭等資質向上研修開講式

中堅養護教諭へ期待すること ～中堅研の開講にあたって～

県教育庁保健体育課 健康体育班
指導主事 松田 佳奈子



沖縄の健康長寿を巡る状況の変化

食習慣の変化、運動量の減少、喫煙率の高さ、健診受診率の低さ、社会経済的な格差の拡大など

平均寿命の推移
女性 1位 → 1位 → 3位
男性 4位 → 26位 → 30位



かつての健康長寿県を取り戻そう!

健康おきなわ21
(第2次)

沖縄県教育振興基本計画
【後期改訂版】



沖縄県教育振興基本計画 【後期改訂版】

健やかな心と体を育む教育の推進

「幼児児童生徒がたくましく生きるための心身の健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、生涯を通じて運動に親しむ態度の育成や健康で安全な生活を送るための基礎を培う体育・スポーツ、健康教育の充実に努める。」

学校保健活動推進の中核的役割を果たす
養護教諭への期待はますます高まっている



養護教諭の現状

- ①原則1名配置のため、同職と学び合う機会が少ない
- ②勤務する学校の校種、規模、職場・地域環境等によって担う職務内容は多様である
- ③コロナ禍の影響で養護教諭の役割が更に増している

養護教諭の資質能力向上が日々求められている
その実現には、研修の機会が重要である



教職員研修：自主的研修、校内研修、行政研修

行政研修

基本研修	指定研修	キャリアステージに応じて、専門職としての職務遂行に必要な知識、技術、態度等の向上を図るために実施する研修
	職務研修	職務に応じて、職務遂行上必要な知識、技術等の修得を目的として実施する研修
課題研修		当面する教育課題について、組織的、計画的に実施
専門研修		教科領域を中心として、職務遂行上必要な専門的事項について実施
特別研修		県教育委員会及び市町村教育委員会が、県内外及び国外へ派遣する研修

養護教諭が受講できる行政研修

	採用ステージ (1年目)	基礎ステージ (概ね3年目前後)	充実ステージ (概ね8年目前後)	発展ステージ (概ね13年目前後)	指導ステージ (概ね18年目前後)
基本研修	新規採用職員研修	教職5年経験者研修	中堅教諭等資質向上研修		
	職務研修		部主事・主任研修(教育相談、特別支援教育コーディネータ、保健主事研修等) 各職務研修(養護教諭)		
行政研修	課題研修	カウンセリング研修			
	専門研修	免許法認定講習等			
特別研修				喫緊課題の指導者研修(教職員支援機構)	
		海外研修(短期・長期研修)			
		新教育大学大学院等研修(上越・兵庫・鳴門教育大学大学院、琉球大学教職大学院等) 長期・短期研修・ICT研修(総合教育センター研修等)			

キャリアステージに応じた養護教諭研修

沖縄県教育委員会では、平成30年度より「**沖縄県公立学校教員育成指標**」を作成し、キャリアステージに応じて求められる資質能力を示している。

養護教諭に求められる4つの力

教職を支える力

生徒指導力

学校運営力

学校保健実践力

養護教諭研修の内容

初任者研修

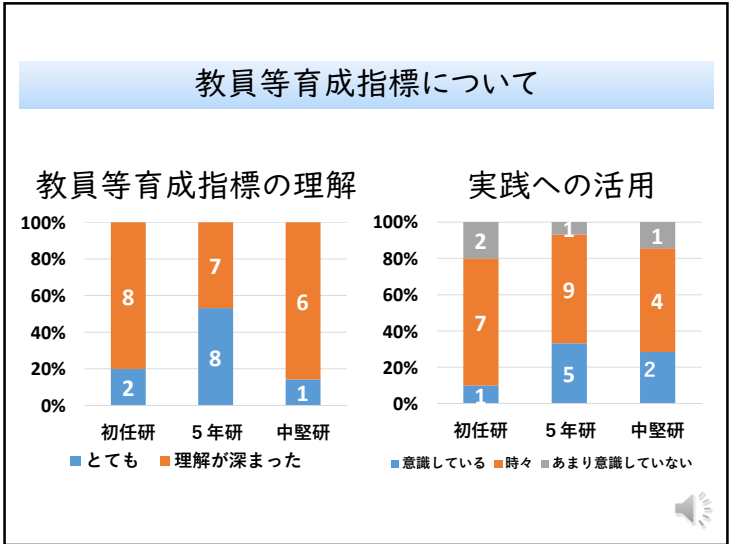
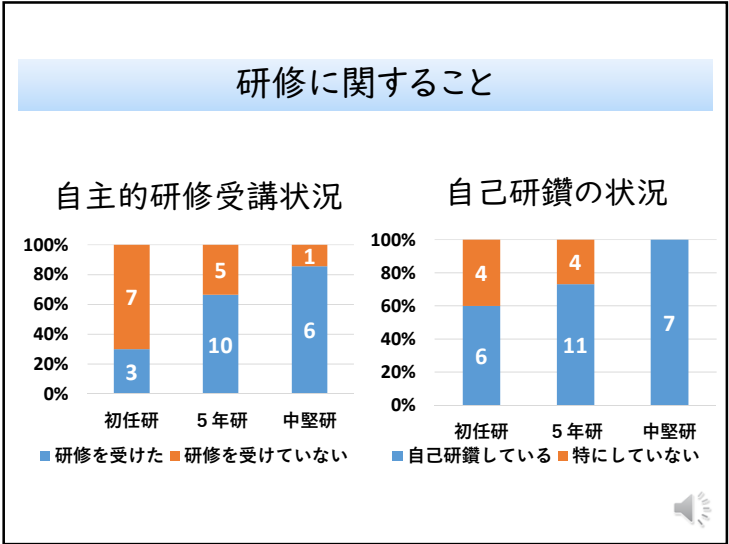
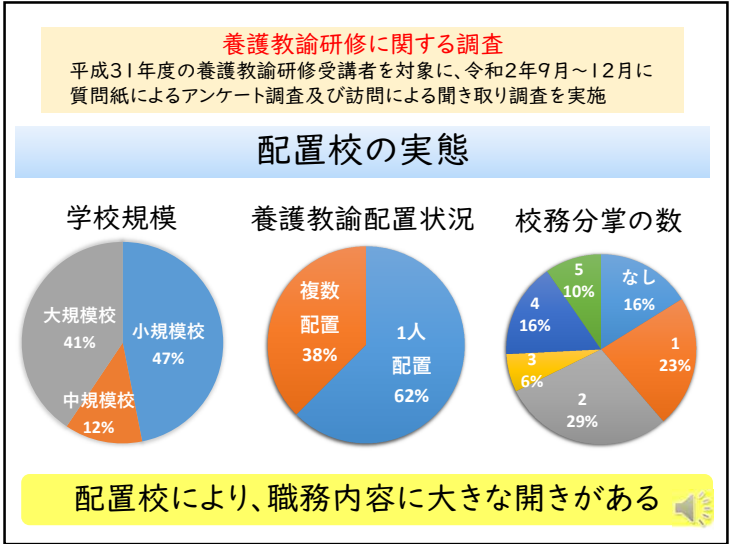
○1年間、校内において研修指導者を中心とする指導・助言による研修及び本センター等が実施する講義・演習等による研修を実施

教職5年経験者研修

○本センター等における研修を4日間程度実施
○研修内容は、健康教育上の現代的課題に関する研修項目を設定するなど配慮し、精選・重点化を図っている

中堅教諭等資質向上研修

○校内外研修と特定課題研究を大きな柱とし、本センターをはじめ、関係教育機関と連携を図りながら実施



今後、養護教諭に求められる能力について

項目	値
救急処置知識及び技術、救急処置能力	5.0
心身の健康状態を観察及び分析する能力	4.9
チーム力、関係者と連携する能力	4.8
発育発達の知識、発達課題に関する知識	4.7
個人又は集団の健康に関する情報収集能力及び処理能力	4.6
専門性を生かしたカウンセリングの能力	4.6

初任者の段階から「チーム力」を意識させたい

項目	値
生徒指導力	3.7
養護教諭の専門性を生かした教科指導の指導力	3.8
研究能力	3.9
プレゼンテーション能力	4.1
疫学的知識	4.3

本県教育の課題解決に向けた能力の育成

研修の活用度合いと具体的状況について

中堅研 活用度(上位)

研修内容		値
1	緊急時の対応と処置(シミュレーション)	4.6
2	課題研究(昨年度実践報告含む)	4.4
3	発達障害支援「10年目教諭に求められていること」	4.3
3	情報教育「情報モラル、アンケート集計等」	4.3
5	学校におけるサポート体制の構築	4.1
5	子どもの貧困対策「学校と福祉の連携」	4.1

「けがや失神など緊急時の際に役立つ」
 「実践報告や協議を通して、役立つ情報が得られた」
 「毎日の検温(新型コロナ関連)の報告にアンケート作成ツールを活用している」



職務上困っていること

初任研受講者

- ✓ 困り感のある児童生徒への発達特性に合わせた対応
- ✓ 健康課題の解決に向けた児童や保護者へのアプローチ法

5年研受講者

- ✓ 別室登校の児童生徒への対応(メンタル面のケア)
- ✓ 校務分掌が多く、学校保健をしっかりとできているのか不安

中堅研受講者

- ✓ 不登校児童へのアプローチの仕方(家庭・保護者への支援)
- ✓ SC、SSWなど専門職の活用と連携

学校の組織力向上と養護教諭の研修機会を確保

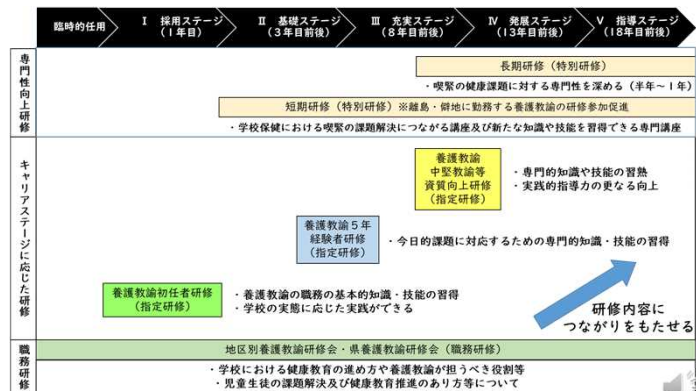
「評価シート」の活用について

育成すべき四つの力	採用ステージ (1年目)	基礎ステージ (概ね3年目前後)	充実ステージ (概ね5年目前後)	発展ステージ (概ね13年目前後)	指導ステージ (概ね18年目前後)	①の合計						
	初任研	5年研	中堅研			A	B	C	D	E		
学校保健安全法等の理解し、児童生徒等や地域の関係者を踏まえ、他の教職員や学校高等と連携・協働して、健康診断や学校環境衛生管理等の取組を推進に行うことができる												
保健主事等と連携・協働して、救急体制を構築し、専門性を生かして、適切な緊急処置を行うことができる												
児童生徒のけがや病気、事故等への対応の実践的知識に基づいて高い専門性・実践力をもち、的確に対応できるとともに校内全体へ指導できる												
児童生徒の健康と養護(実技)	児童生徒の健康と養護(実技)	児童生徒の健康と養護(実技)	児童生徒の健康と養護(実技)	児童生徒の健康と養護(実技)	児童生徒の健康と養護(実技)							
児童生徒の健康管理	がん教育、リスクマネジメント	小児がんと学校教育										
	小計①～④まで全て1点の場合、合計で41点 小計①～④まで全て5点の場合、合計で205点					総合計①～④						

【活用のポイント】

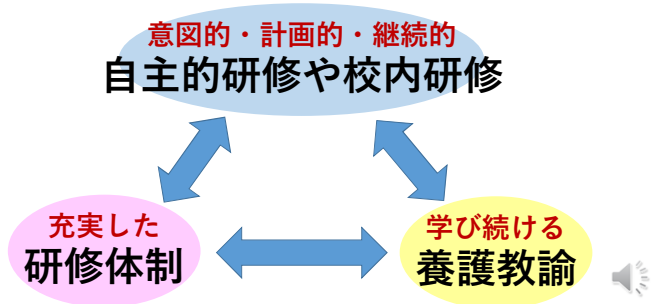
- ①教員等育成指標で求める4つの力を確認することができる
- ②指導ステージに焦点を合わせた内容であるため、全ステージの養護教諭が活用できる
- ③項目毎に点数化し、自身の資質能力を客観的に把握することができる
- ④研修項目を記載し、教員等育成指標との関連を図ることができる

養護教諭研修体系について



教員としてのキャリアステージを上げていくために

「養護教諭が、職務遂行の期間を通して学び続けるためには、学習の機会及び養護教諭自身の資質能力向上に対する意識と行動が鍵になる」平川(2016)



沖縄県の子供たちの
健やかな心と体を育むために！

Speaker icon